



2023年5月25日(木)の21時から23時という日程で、「対人援助学マガジン第5回トークライブ」が開催されました。第5回の話者は「幼稚園の現場から」を連載中の鶴谷圭一さんです。前半は鶴谷さんのトークライブで、連載のきっかけや連載を通して感じていること、園長を務めておられる原町幼稚園での取り組みの実際などをお話頂きました。後半は鶴谷さんのお話を受けて、参加者全員がひとことコメント(感想、質問、意見など)を出し、そのコメントをめぐって話者もフロアも一緒になって話し合う時間となりました。

近年、幼稚園バスへの子どもの置き去りや、遊具での事故、保育園における虐待など、保育や幼児教育を巡る事故や事件の報道が相次ぎました。“とにかくリスク回避”が優先されるあまり、公園から大型遊具がどんどん消えていったり、使えないように固定されたりしているという状況も耳にします。そんな中、“木登りができる園庭”(マガジン50号:子どもが育つ園庭を参照)を持つ原町幼稚園の取り組みは、際立って見えるように感じました。思考停止して単にリスクを無くすのではなく、十分なシミュレーションと検討をしたうえで、リスクを管理、把握する。その上で、リスクをゼロにはしないことで、子ども自身にも「何が危ないのかを理解する」力を育てる、という重要な視点が示されました。

事件や事故の報道を通してネガティブな印象が形成され、“成り手がいない”という状況も聞かれる幼児教育、保育の現場ですが、原町幼稚園には、卒園生が“ここで働きたい!”と戻ってくる、というお話もありました。鶴谷さんが幼児教育について、未来を生きる子を育む「クリエイティブな仕事」と語っておられたことが、強く印象に残りました。遅くまでご参加いただいた鶴谷さん、参加者のみなさま、ありがとうございました!

執筆者トークライブは年2回程度の開催を予定にしており、第6回のトークライブは2023年11月頃に企画する予定です。引き続きよろしくお願いたします。読書会やトークライブの開催情報については、FacebookやTwitterなどのSNSでもお知らせ致します。

◆マガジン公式 Facebook <https://www.facebook.com/taijinenjyogakumagazine>

◆マガジン公式 Twitter <https://twitter.com/taimagahenshubu>